

卒業証書授与式 67名の新たな門出

春。希望の春。別れを惜しむかのように雨が降る中、平成27年度広州日本人学校卒業証書授与式が行われました。盛大な拍手の中、それぞれの思いを胸に入場する卒業生の表情は緊張の面持ちです。小学部は6年間、中学部は3年間の学びを終え、卒業証書を手にする大切な日。ひとりひとりの胸のうちにどのような思いが巡っているのか、それを思うだけで胸がいっぱいになります。

卒業証書の授与が始まりました。呼名の後、返事をして小幡校長から証書を受け取ります。担任からの最後の呼名。担任はひとりひとりの名前にこれまでの思いを込め、そして卒業生はその思いに応えるように力強い返事をします。卒業証書を手にした卒業生の表情は、晴れ晴れしく輝いていました。会場で見守っていた全ての人たちは、きっとたくましさを感じたはずで

す。小学部在校生の会場全体に響き渡る声で伝えるメッセージ、卒業生への尊敬と感謝の思いの強さは胸を打ちました。卒業生は喜びと未来への希望、そしてこれまで見守り導いてくれた方々への感謝の気持ちを言葉と歌に乗せます。中学部在校生は、代表生徒の言葉と全員合唱で卒業式を彩り、それぞれの熱い思いが、ひとつとなつて、見ている私たちに感動をくれました。これまで多くの卒業生がそうしてきたように、今年度の卒業生もまた、堂々たる姿で在校生へとバトンを引き継ぐことができました。

中学部3年生がステージへ。卒業の歌「旅立ちの日に」の合唱です。万感の思いを込めた歌声。誰か一人の活躍ではなく、ひとりひとりの個性が光る。まさに、学級テーマの「三十人三十味」この3年生らしい、この3年生にしかできない「全体が一つになる」最高の合唱でした。

「誰一人として、同じ道に進むことはなくても、始まりは同じ、この広州日本人学校です」送辞の中で、在校生が送ったメッセージです。広州日本人学校での思い出を胸に、卒業生がそれぞれの場所で、輝かしい未来を歩いていくことを願っています。

内外の皆様にもご支援を頂きこの日を無事にことに感謝申し上げます。



校長から証書の授与を受ける卒業生



小学部 送ることば 別れのことば



中学部 最後の合唱 旅立ちの日に